

学術機関との連携による地域創生戦略指標開発プロジェクト

兵庫県地域創生課

1. 趣 旨

次期地域創生戦略の策定に向けての基礎調査の一環として、戦略の主要目標（人口の自然増・社会増、GDP・GNI）等に係る指標開発を推進するため、標記プロジェクトを実施する。

実施にあたっては、統計の専門家や実務者などからなる研究会を設置して、関連データを収集・加工し、統計モデルの構築と精選を図り、見える化を進める。また、研究会において、エビデンスを基にした地域創生のための政策展開の戦略づくりや、地域の取組の評価等に生かすための検討を行う。

2. 検討項目(例)

(1) 子ども・子育て支援関連

国勢調査等のミクロデータを活用し、子どもの数と世帯所得、母親の就労の有無、就業先、職住の近接状況、三世帯同居等の関係を明らかにする。

(2) 出会い・結婚支援関連

・国勢調査・就業構造基本調査等のミクロデータを活用し、独身者の職業・住居・収入等を明らかにし、既婚者との相違点を年齢階層別に探る。また、モバイル空間データを活用し、独身者、既婚者の平日、土日の行動範囲を比較する。

(3) 元気高齢者関連

・社会生活基本調査等のミクロデータから、学習・研究、ボランティア、余暇、趣味・娯楽、旅行・行楽等の活動及び生活時間の分析から、元気高齢者の定義づけを行うとともに、その定量化を試みる。

(4) 就職、Uターン関連

・国勢調査、就業構造基本調査等のミクロデータから、20～30 歳代の若年層の社会移動の実態を明らかにし、Uターン者の推計を試みる。また、県内でアンケート調査やヒアリング調査もあわせて行い、推計の一助とする。
・この分析から、新規大卒者の県内就職率の推計も行う。

(5) 活動人口・関係人口関連

・モバイル空間データを活用し、平日・休日、昼夜の滞在人口を把握する。その数値を国勢調査の常住人口人口、従業地人口などを参照しながら精査し、日常的な活動人口の定量化を図る。
・また、通勤・通学人口、定住人口、観光人口の算出を試み、それらのカテゴリーには属さない、関係人口の試算を行う。

(6) 経済・産業関連

・経済センサスのミクロデータを用い、県内・県外企業の開業事業所の特性把握にあたる。また、雇用保険事業年報、民事・訴務・人権統計年報、国税庁統計年報等のデータも参照しながら開廃業率の算出を試みる。
・経済センサスのミクロデータ（輸出額）と海外企業活動基本調査のデータ（海外子会社売上額）を統合し、県内企業の海外展開の状況把握を試みる。

→上記の検討項目は例示的に示したものであり、これ以外の項目についても調査を行

う可能性がある。
→可能なものは結果を GIS 上で表示し、データの見える化、可視化を試みる。

3. 期待される成果

- ・得られたデータから、次期地域創生戦略の政策立案にあたっての仮説検証を試みることで、EBPM（確かな根拠に基づく政策立案）の推進を図る。
- ・データを活用して、指標の開発、精緻化に取り組み、施策の目的にかなった KPI（重要業績指標）の設定を行う。
- ・これらの取組により、実態に即した政策の立案・実施とその効果測定が可能になるとともに、県民に政策が地域社会にインパクトを与えている状況を目に見える形でわかりやすく伝えることができる（可能なものは県内 10 地域毎に指標を作成し、地域毎の個性・特性を踏まえた政策を実施）。
- ・データ収集・分析に県庁関係課室の担当者を従事させることにより、データ分析及びデータ・サイエンスに係る人材育成を進めることができる。
- ・データ分析、政策立案に係る学術機関との連携を深めることができる。

4. 実施期間

平成 31 年 4 月～32 年 2 月

5. 実施方法

兵庫県と神戸大学大学院経済学研究科、兵庫県立大学社会情報科学部の学識者で研究会（戦略的データ活用検討委員会(仮称)）を設置し、その場での議論を踏まえながら、新たな政策立案・指標開発アプローチを検討していく。

なお、マイクロデータの分析にあたっては、和歌山市の総務省統計局データ利活用センター及び神戸大学のオンサイト施設の利用を想定している。

〈研究会メンバー〉

有識者	神戸大学大学院経済学研究科	萩原 泰治 教授	（産業連関分析）
	神戸大学大学院経済学研究科	中村 健太 准教授	（イノベーション・企業経済学）
	神戸大学大学院経済学研究科	勇上 和史 准教授	（労働経済学）
	兵庫県立大学社会情報科学部	笹嶋 宗彦 准教授	（知識情報学）
	兵庫県立大学社会情報科学部	古隅 弘樹 准教授	（データベース）
オブザーバー	総務省統計局統計データ利活用センター	谷道 正太郎	センター長
兵庫県	地域創生課、統計課、ビジョン課、情報企画課、産業政策課		

〈研究会開催回数〉

3～4 回程度を想定